



二〇二一年衆議院議員選挙 高橋千鶴子さん7選を果たす

同盟の要求実現、憲法が生きる社会めざし前進しましょう

(1)十月三十一日投票の衆議院議員選挙において共産党の高橋千鶴子さんが比例東北ブロックで7選を果たしました。高橋千鶴子さんは同盟青森県本部の顧問です。また一九九五年に結成された青森



No. 569

編集発行人 田中幹夫
治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

〒113-0034
東京都文京区湯島2-4-4
平和と労働センター全労連会館内
電話 03-5842-6461
FAX 03-5842-6462
振替 00110-6-97793
定価 50円

県本部女性委員会の初代委員長を担うなど県同盟の発展に尽力されました。今回の当選を皆さんとともに喜びたいと思います。総選挙の結果については今後乗り越えなければならぬ課題を明確にしました。「共通政策、政権協力の合意という歴史的な意義を持つ市民・野党共闘を多くの人々にその魅力を理解してもらおう」こと。今後私たちがめざす方向です。

今後自公、維新などが憲法改悪策動を強める危

青森県版 2021年11月15日発行 第 353 号

〒030-0821
青森市勝田二丁目7-3
山脇ビル
TEL 017-721-9018
FAX 017-721-9019
青森県本部

険性も大きくなっています。先人たちが生命をかけて勝ち取ってきた憲法。改憲は絶対に許せません。また戦後七十六年の現在においても自公政権による侵略戦争や国民弾圧に対する反省は全くありません。このことを無かったことにすることはできませんし、憲法に基づく日本を創るうえで必要不可欠です。

あらためて今回の総選挙についての同盟の対応を記します。

(2)衆議院議員選挙にあたっての国賠同盟の対応

★「立憲野党の政党と候補者の勝利のために全力で頑張りましたよ」これが今回の総選挙にあ

たつての同盟の行動スロ
ーガンです。

(理由)

国賠同盟は「市民と立憲野党の共同」の力で自公政権に代わる新しい政権の誕生をめざすこと、また「同盟要求実現選挙」と位置付けました。

(同盟要求とは何か)

それは国会請願3項目の実現です。

(国会請願3項目)

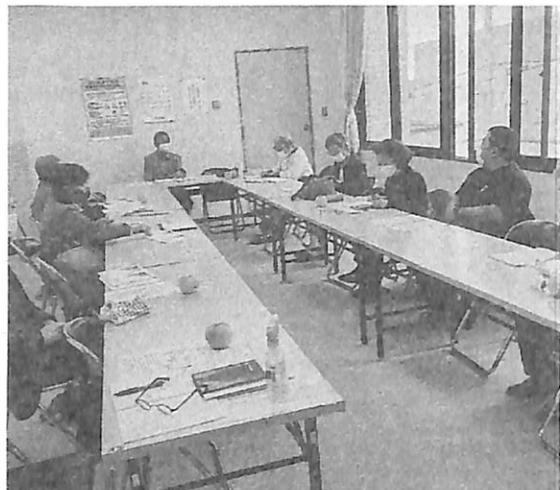
○国は治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること

○国は治安維持法犠牲者に対し謝罪と賠償措置をとること

○国は治安維持法犠牲者の犠牲の実態を調査し公表すること

この3項目の実現に一步でも二歩でも近づけるためには国会請願紹介議員を増やすこと、そのために立憲野党の勝利に全力を尽くすことが必要です。

この立場で今後も頑張っていきましょう。



十月十二日(火)青森市ふれあいの館にて毎月一回定期的に開催している理事会(役員会)を開催しました。東青支部では理事会の一週間前に支部三役会議を開き、理事会に提案する議題の整理や当面の課題について検

東青支部十月の理事会を開催 ―多数の理事が参加。内容のある議論を行なう―

討を行なっています。今回理事会の討議内容について概要を報告します。

(1) 当日の参加理事は十一名中十名。冒頭九月十一日に亡くなった斎藤ナミさんを偲んで黙とうをおこないました。

(2) 館田支部長あいさつと学習
館田支部長は間近に迫った衆議院議員選挙にふれ「治安維持法犠牲者国家賠償法」の制定に必要となる国会の中で「紹介議員」を増やすためにもこの選挙に全力を上げようと挨拶しました。

(3) 仲間増やし(会員拡大)について
斎藤ナミさんが亡くなるなどこの間会員が減少しています。十月は総選挙があります。十一月からは行動日を設定、「本州北の端てからのろしをあげる」を合言葉に行動することを確認しました。

(4) 国会請願署名について
余り進んでいない。事前にお願ひしていた民主団体への署名回収行動を十一月十七日におこなうことを確認。

(5) 青森市男女共同参画フォーラムへの参加について
参加を確認。二〇二一年一月は世帯主制度について学習。二〇二二年一月のテーマについては「ジェンダー平等」「女性解放運動の原点を問う」を柱に検討していく。担当者を中野事務局長の他に池辺さんを加え二名とすることを確認。

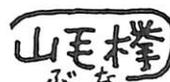
(6) その他
○これまでの活動報告と今後の予定について確認。
○十月の街宣は選挙の関係で中止。
○斎藤ナミさんを偲ぶ会を開催することを確認。十二月四日(土)予定。担当者を二名決める。

「国賠同盟」の存在と「同盟運動」の役割は必要不可欠!

― 会員拡大(仲間増やし)行動に取り組みましょう ―

- (1) 国賠同盟の役割を確認しよう
1 ページの記事に載せたように同盟は「治安維持法犠牲者国家賠償法」の制定を目指しています。国会請願3項目の内容は「憲法に明記された国民主権の新しい日本」を創り上げていくうえで欠くことのできないものです。
(2) 運動を大きくしていくには多くの仲間が必要
この間「コロナ禍」により「三・一五、四・一六大弾圧集会」や「相沢良を語りつくす」といってまた県本部大会などの開催も中止を余儀なくされました。これに伴い会員の減少が少しづつ現れてきています。運動と組織拡大は車の両輪です。どちらを進めていきたいと思います。
(3) 次世代を担う青壮年への働きかけも重要
青森県同盟には民医連(医療・介護関係)で働く労働者など六〇才以下の会員も存在していますが多くはありませぬ。経験を積んでこられた年配の方、女性会員についてももちろんですが、青壮年への働きかけも今後より一層必要になっていきます。
(4) 作家「山岸一章」による青年への思い「相沢良の青春」の著者山岸一章

は序文の「青年に贈る記録」の中で「一つだけの生命で一回きりの人生をどのように生きていくべきなのか」の強い思いを持って青年に呼びかけています。少し紹介します。
(山岸一章の言葉)
「戦前の無名戦士たちが拷問や投獄の弾圧をおそれずにたたかっていたように、今日の私たちは支配者の世論操作や思想的影響と日々につきましくたたかっている必要があります」
「今日の時代に生きる私たちは天皇制絶対主義を当然とされた戦前とちがって、誰でもが日本国憲法を擁護してすばらしい人生をいきていく権利と可能性を持っています。しかし現実社会の生活はきびしくて人間らしく生きる展望を見失いがちなのも事実です」
「今日の日本は一人の相沢良でなく何万人、何十万人の相沢良を必要としています」
(5) 青壮年の要望、希望について対話し、共に要求実現を
同盟会員の皆さん。「仲間増やし」の働きかけは少人数では力となりません。四〇〇名を超える県本部会員のご協力がぜひ必要です。紹介だけでも結構ですので声をかけてください。共に要求実現を!



■コロナ禍?で、外出を控えたり生活が荒れています。年配者はじつとひとりであると思っても止まり、物忘れも進んでくるのでしよう。幼い子どもたちは、新しい事を人への交わりで人として成長していく事がけずられてきているのでは無いでしょうか。衆院選挙中、対話をすると、おかしいな、変だなあとの声があがりました。ワクチンの事では、(高齢者を先にするのは、若い者は2回目はまだだ)PCR検査(誰でもどこでも無料で受けられるの?)米価暴落では米余りというが(米を輸入している)。安倍政権の布マスク(八三〇〇万枚倉庫に保管。保管費用が六億円?)戦争放棄をうたった憲法なのに改憲発議を深めていくという岸田首相(身近な事では、灯油の値上がり、水道料金、パンは小さくなった、ガソリンも上がった……。集まって話し合い、オカシイな、変だと思ったら声をあげましょう。共に行動しましょう。ふたたび戦争と暗黒政治を許すな!
(恵子)



私が出合った子どもたち…… (36)

剣道部の将悟

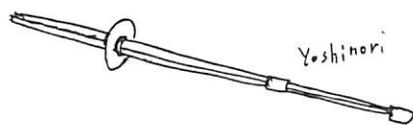
一戸義規

将悟は中学校2年生です。色白で静かな子どもです。将悟は1年生で「剣道部」に入部しました。私は卓球部の顧問なので、将悟の剣道部での活動がどうなのかはわかりません。将悟は私が担当する美術の時間でも、とてもオトナシイ子どもでした。

将悟が2年生の2学期

のことです。始業式の次の日から将悟は放課後の部活動に参加しないで、教室で一人でプリントと向き合うようになりました。それは何日も続きました。実は次のようでした。将悟が夏休みの宿題をやっていないので、学級担任から「宿題完了」まで部活動への参加を止められてしまったのです。

参加させるようにしてほしい」と相談を持ち掛けました。しかし、学級担任からは「将悟は自分から進んで放課後の教室居残り学習している……」と返ってきました。



その日の放課後、私は将悟の教室に行って彼と話し合いました。(聞いたではありません。)

将悟は1年の秋からほとんど剣道部の活動に参加していませんでした。それでも将悟は毎日の通学時は竹刀を担いで家を出て、帰日も竹刀を背負って家に帰っていたのです。

それは、2年生の2学期の今まで続いていたのです。将悟は、剣道部の練習についていけず、籍だけを剣道部としたまま練習

に参加せず、放課後の時間を上手につぶして、部活に参加していたかのようにして、竹刀を担いで通学を続けていたのです。親には話していませんでした。彼の通学時間は徒歩で往復40分でした。私は、将悟と学級担任と相談して、家庭訪問しました。

母と会いました。母は「将悟が剣道部に参加していないのではないかと感じましたが、毎日竹刀を担いで通学するので聞いたですことはなかった……」ということでした。

次の日から将悟は、「竹刀なし」で通学するようになりました。放課後の学習も止めて、みんなより早く帰宅するようになりました。将悟に穏やかな笑顔が見られるようになりました。



絵手紙 柳谷 マサ子 (むつ市在住)

「ある程度の所で、将悟を剣道部に